

平成 29 年 7 月の熱中症による救急搬送状況

熱中症による救急搬送人員数について、平成 29 年 7 月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 平成 29 年 7 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 26,702 人でした。これは、昨年 7 月の救急搬送人員数 18,671 人と比べると 8,031 人多くなっています。平成 29 年 5 月から 7 月までの熱中症による救急搬送人員数は、33,584 人でした。これは昨年の同時期の救急搬送人員数 25,017 人と比べると 8,567 人多くなっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、傷病程度別の内訳等については次のとおりです。
 - 救急搬送人員数の年齢区分では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。
 - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く、次いで中等症、重症の順となっています。
 - 発生場所ごとの搬送人員数をみると、住居が最も多く、次いで公衆（屋外）、道路、仕事場①の順となっています。
 - ※公衆（屋外）とは、不特定者が出入りする場所の屋外部分
 - ※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等
 - 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数は、鹿児島県が最も多く、次いで佐賀県、熊本県の順となっています。

- 熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。引続き厳しい暑さが続く可能性がありますので、予防対策として、日陰や涼しいところで休憩をとること、こまめに水分補給を行うこと、屋外では帽子をかぶることなどに心がけてください。
- 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトに掲載しています。今年度は、全国消防イメージキャラクターの「消太」を活用した熱中症予防を呼びかけるポスターを作成しました。全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載していますので、是非御活用ください。
消防庁 HP『熱中症情報』 http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【資料】平成29年7月の熱中症による救急搬送状況
涼しい場所を利用しよう 暑さ避けよう



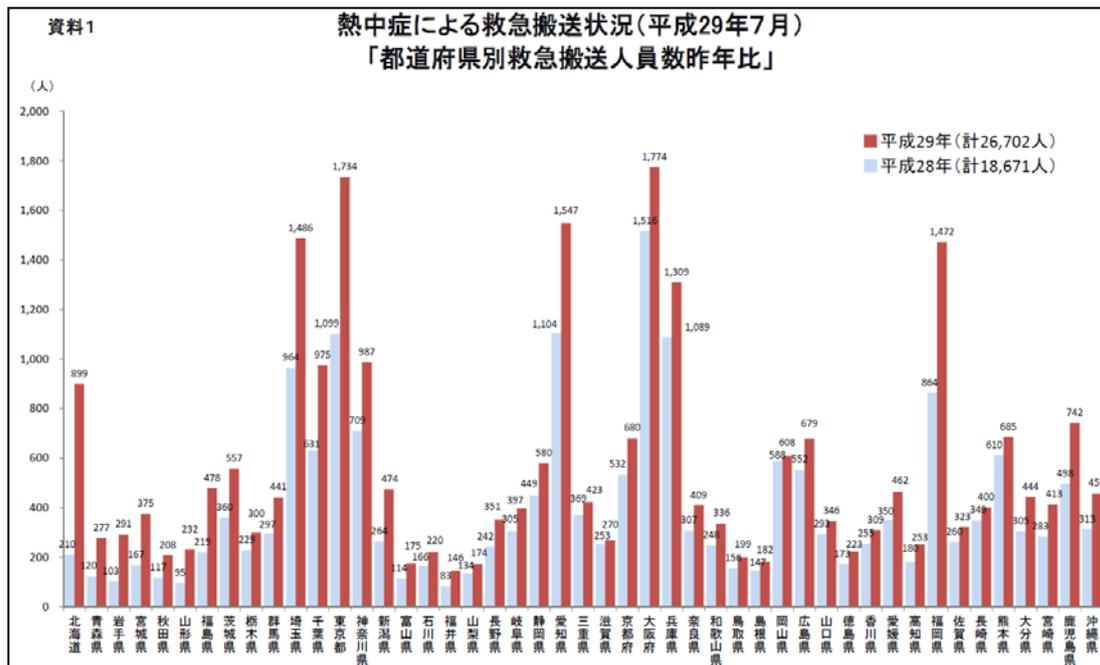
(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：森川、小川、中西
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

平成29年7月の熱中症による救急搬送状況の概要

平成29年7月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総数

平成29年7月の全国における熱中症による救急搬送人員数は26,702人でした。これは、昨年7月の救急搬送人員数18,671人と比べると8,031人多くなっています。(資料1、2、4、5、6、8)



平成29年5月から7月までの熱中症による救急搬送人員数は、33,584人でした。これは昨年の同時期の救急搬送人員数25,017人と比べると8,567人多くなっています。(資料8)

資料8 平成23年～29年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧 (単位:人)

	平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)		
	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	
確定値	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし							
	6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
	7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
	8月			21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
	9月			4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
5月から7月までの搬送人員数合計(同時期比較)	33,584	34	25,017	33	30,503	44									
搬送人員数合計	33,584	34	50,412	59	55,852	105	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73	

※平成29年は5月1日から調査を開始

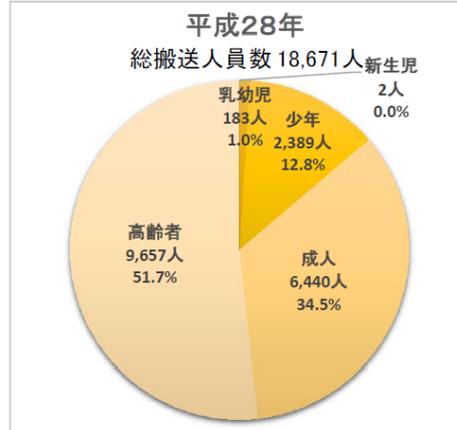
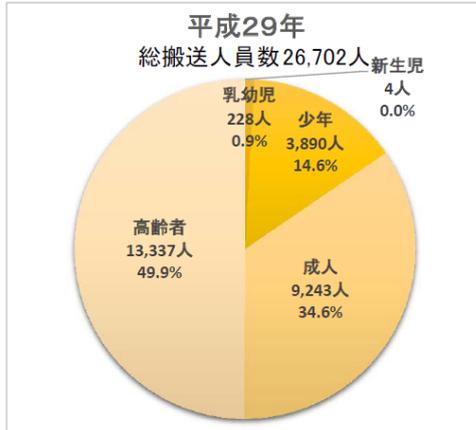
2 内 訳

(1) 年齢区分ごとの救急搬送人員数

高齢者（満65歳以上）が13,337人（49.9%）、次いで成人（満18歳以上満65歳未満）9,243人（34.6%）、少年（満7歳以上満18歳未満）3,890人（14.6%）、乳幼児（生後28日以上満7歳未満）228人（0.9%）の順となっています。

（資料2、5-1、6-1）

熱中症救急搬送人員数 年齢区分（構成比）



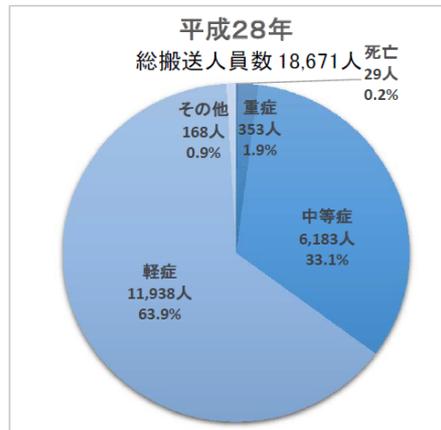
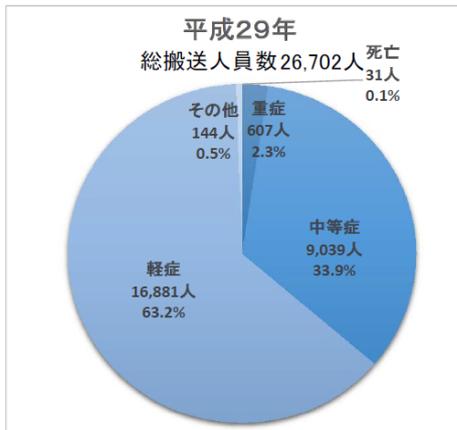
新生児：生後28日未満の者
乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
少年：満7歳以上18歳未満の者
成人：満18歳以上65歳未満の者
高齢者：満65歳以上の者

(2) 医療機関での初診時における傷病程度ごとの救急搬送人員数

軽症（外来診療）が最も多く16,881人（63.2%）、次いで中等症（入院診療）9,039人（33.9%）、重症（長期入院）607人（2.3%）の順となっています。

（資料2、5-1、6-1）

熱中症救急搬送人員数 初診時における傷病程度（構成比）



死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
重 症 (長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中 等 症 (入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症 (外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの
そ の 他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの
※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

(3) 発生場所ごとの救急搬送人員数

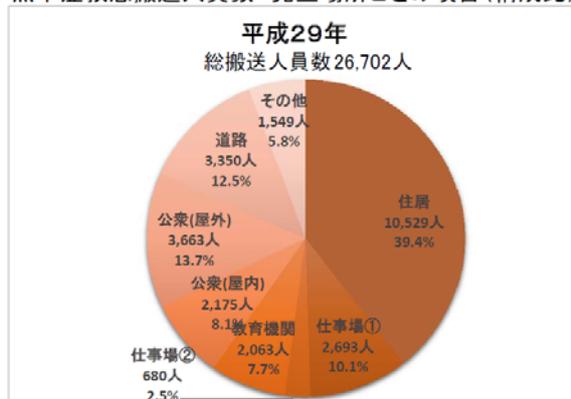
住居が最も多く10,529人（39.4%）、次いで公衆（屋外）3,663人（13.7%）、道路3,350人（12.5%）、仕事場①2,693人（10.1%）の順となっています。

（資料2、5-2、6-2）

※公衆（屋外）とは、不特定者が出入りする場所の屋外部分

※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等

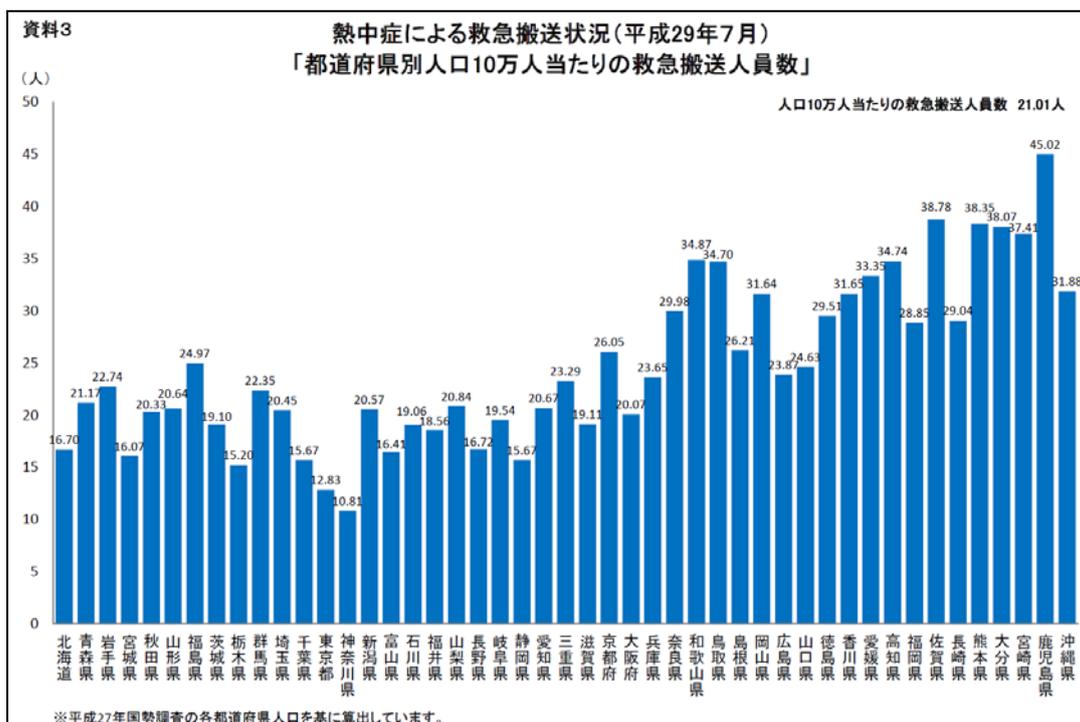
熱中症救急搬送人員数 発生場所ごとの項目（構成比）



住居 (敷地内全ての場所を含む)
仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
その他 (上記に該当しない項目)

(4) 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数

鹿児島県が最も多く45.02人であり、次いで佐賀県38.78人、熊本県38.35人、大分県38.07、宮崎県37.41人の順となっています。(資料3、7)



【注意事項】

○ 熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。引続き、厳しい暑さが続く可能性がありますので、予防対策として、以下の項目に心がけてください。

- ・日陰や涼しいところで休憩をとりましょう。
- ・こまめに水分補給を行いましょ。
- ・屋外では帽子をかぶりましょ。

○ 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトで掲載しています。今年度は、全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した熱中症予防を呼びかけるポスターを作成しました。

全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載していますので、是非御活用ください。

消防庁 HP 『熱中症情報』

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【参 考】

- 気象庁「7月の天候」より抜粋
2017年（平成29年）7月の天候の特徴は以下のとおりです。
 - ・ 北・西日本で気温がかなり高かった
本州付近では、暖かい空気が流れ込みやすく、また高気圧に覆われやすかった時期があり、北・西日本では月平均気温がかなり高かった。
 - ・ 北日本太平洋側で日照時間がかなり多かった
梅雨前線の影響を受けにくく、晴れる日が多かったため、北日本太平洋側の月間日照時間はかなり多かった。
 - ・ 「平成29年7月九州北部豪雨」が発生するなど、北・東・西日本日本海側で局地的に大雨
梅雨前線の活動が活発になった時期があったために、北・東・西日本日本海側では局地的に大雨となり、5～6日には「平成29年7月九州北部豪雨」が発生するなど、各地で河川の氾濫や土砂災害などが発生した。また、東日本日本海側の月降水量はかなり多かった。

- 気象庁「向こう1か月の天候の見通し（8月19日～9月18日）」によれば、西日本と沖縄・奄美では、暖かい空気が流れ込みやすく、向こう1か月の気温は高い見込みですが、西日本では2週目に平年並の気温となる時期もあるようです。
沖縄・奄美では、期間の前半は気温がかなり高く、期間のはじめは降水量の少ない状態が続くようです。
北日本太平洋側では、湿った空気や気圧の谷の影響を受けやすく、向こう1か月の日照時間は少なく、東・西日本でも平年並か少ないようです。なお、北・東日本太平洋側では、期間のはじめは日照時間の少ない状態が続くようです。

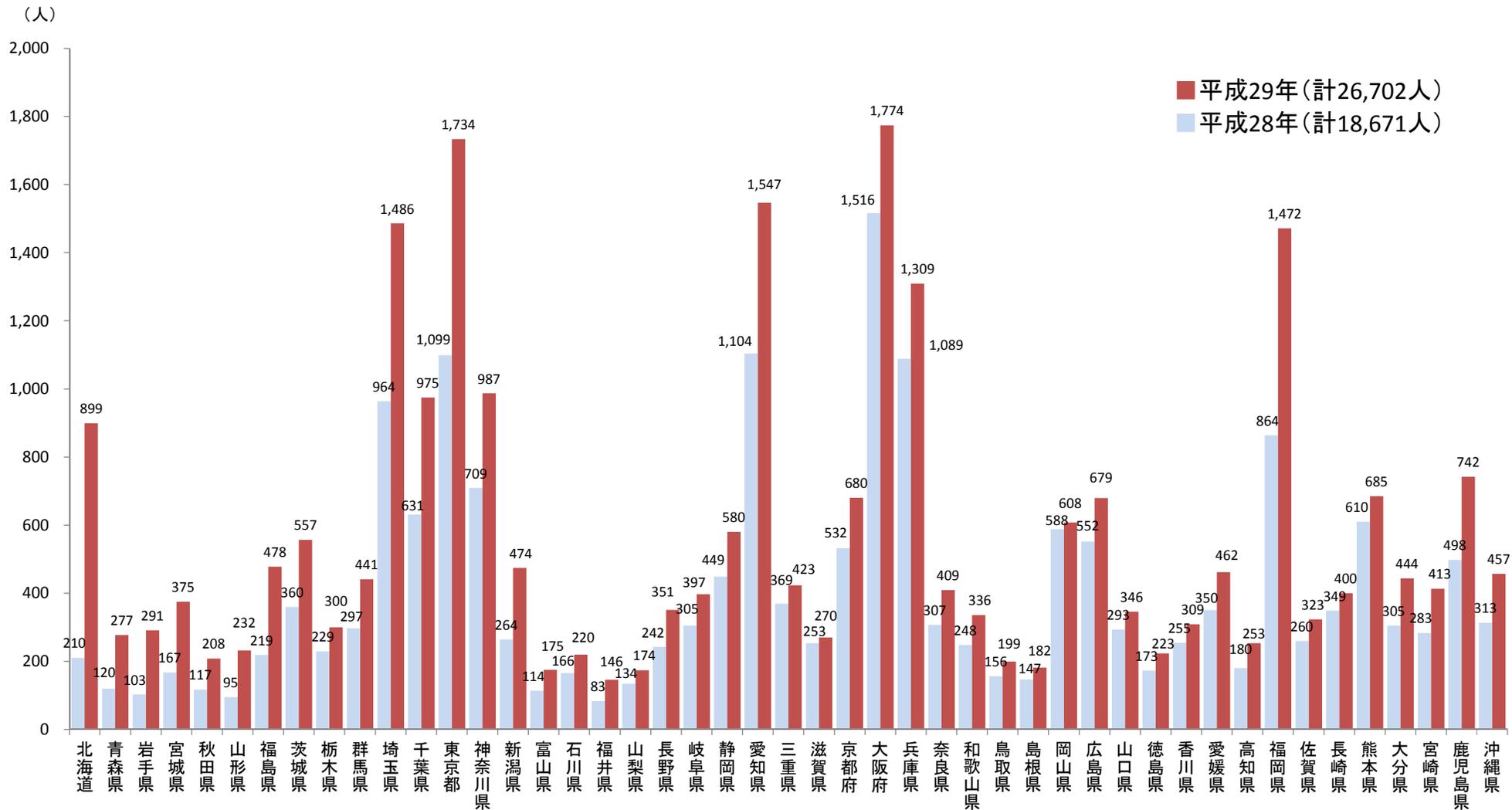
- 暑さ指数（WBGT）と救急搬送人員数とのデータ比較
暑さ指数と救急搬送人員数との関係について調査をするため、東京都、愛知県、大阪府で両者のデータの比較を表示しています。（参考資料）

平成 29 年 7 月の熱中症による救急搬送状況

- 資料 1 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「都道府県別救急搬送人員数昨年比」（グラフ）
- 資料 2 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「年齢区分別（構成比）、初診時における傷病程度別（構成比）、発生場所ごとの項目別（構成比）」（グラフ）
- 資料 3 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数」（グラフ）
- 資料 4 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年）
「調査開始から各週ごとの比較」（グラフ）
- 資料 5 - 1 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料 5 - 2 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「都道府県別の発生場所別救急搬送人員数」（表）
- 資料 6 - 1 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料 6 - 2 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「日別の発生場所別救急搬送人員数」（表）
- 資料 7 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 7 月）
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数」（表）
- 資料 8 平成 23 年～29 年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧(表)
- 参考資料 主な都道府県の日別の救急搬送人員数と暑さ指数（WBGT）データとの比較
（平成 29 年 5～7 月）（グラフ）

資料1

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月) 「都道府県別救急搬送人員数昨年比」



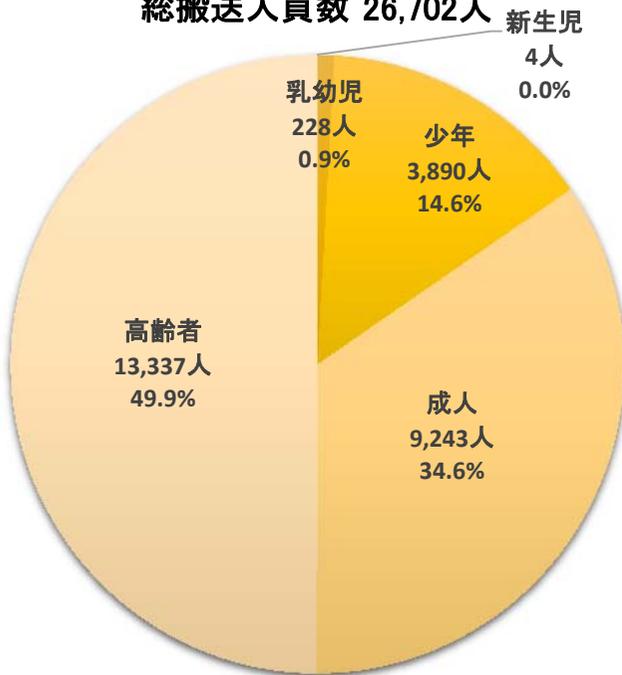
資料2

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月)

「年齢区分別(構成比)、初診時における傷病程度別(構成比)、発生場所ごとの項目別(構成比)」

年齢区分(構成比)

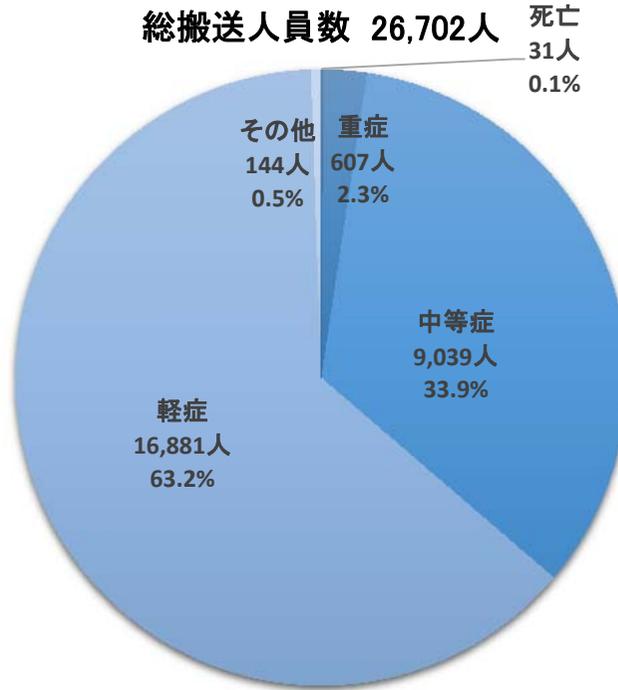
総搬送人員数 26,702人



新生児：生後 28 日未満の者
 乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
 少年：満 7 歳以上 18 歳未満の者
 成人：満 18 歳以上 65 歳未満の者
 高齢者：満 65 歳以上の者

初診時における傷病程度(構成比)

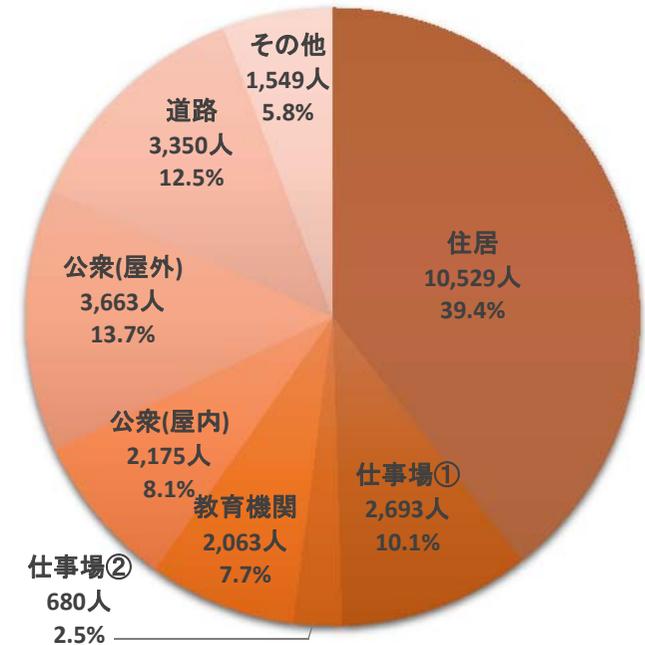
総搬送人員数 26,702人



死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
 重 症 (長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中 等 症 (入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの
 軽 症 (外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの
 そ の 他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの
 ※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

発生場所ごとの項目(構成比)

総搬送人員数 26,702人

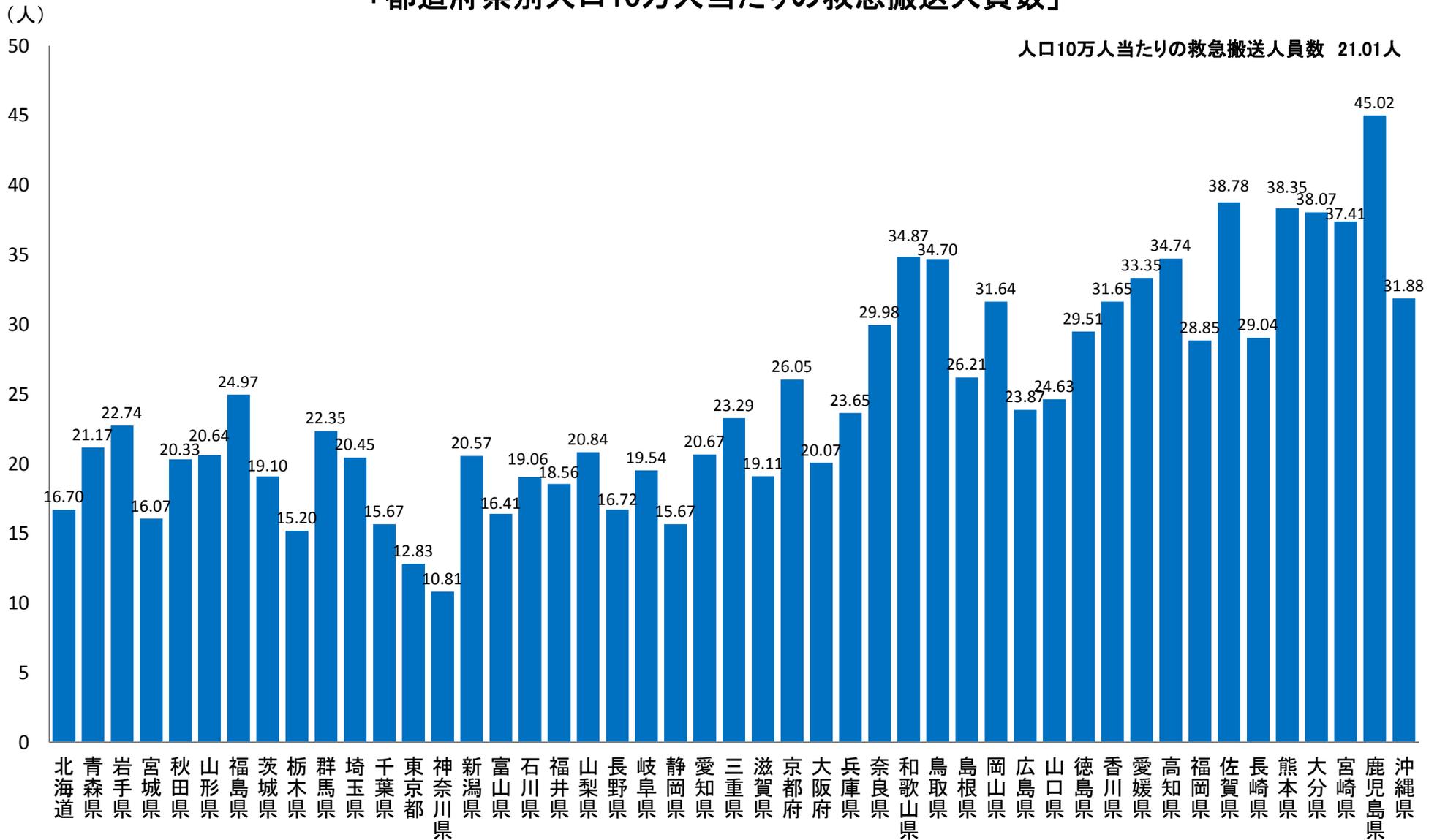


住居 (敷地内全ての場所を含む)
 仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
 仕事場② (田畑・森林・海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
 教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
 公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
 公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
 道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
 その他 (上記に該当しない項目)

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料3

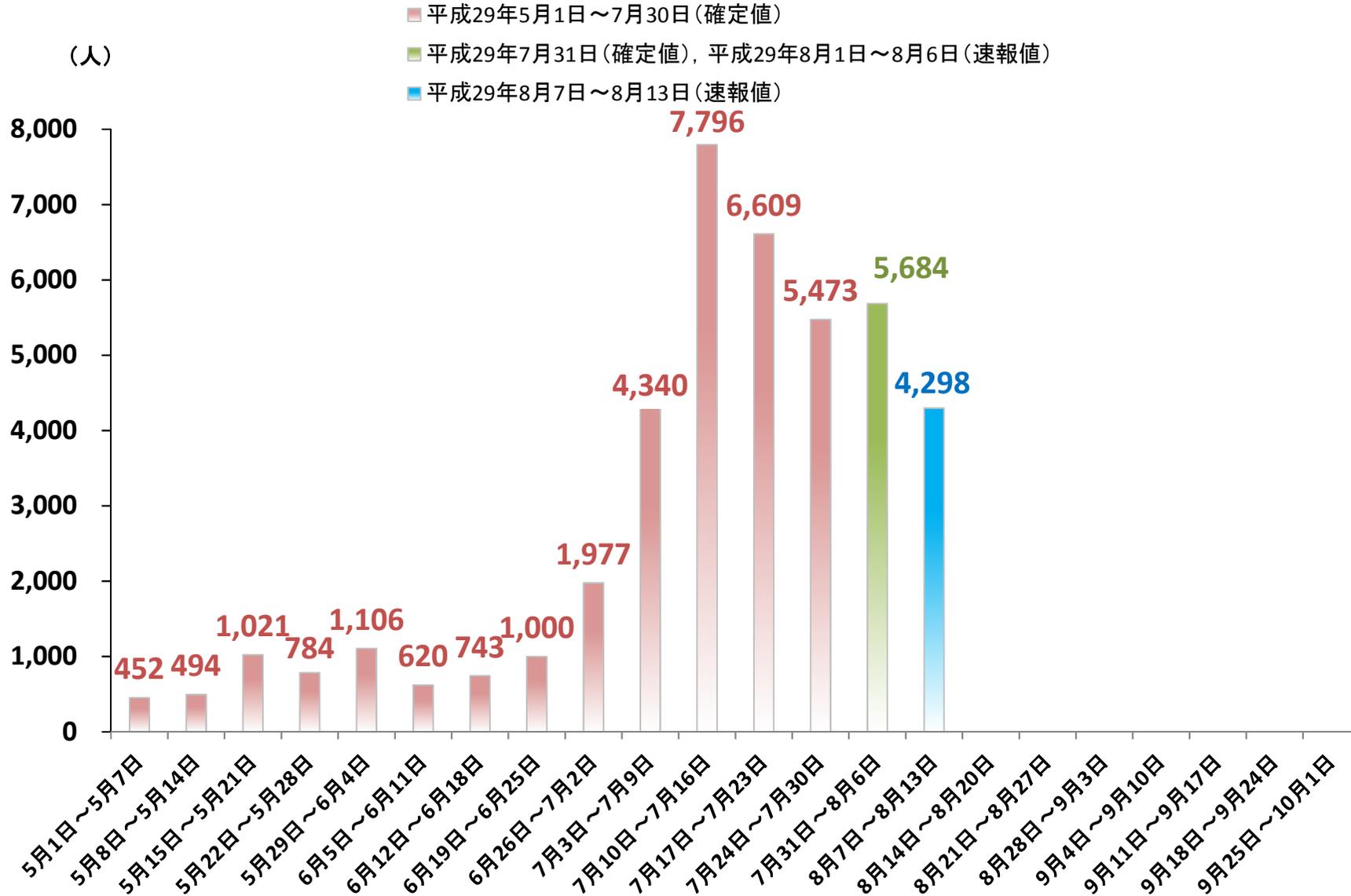
熱中症による救急搬送状況(平成29年7月)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数」



※平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

熱中症による救急搬送状況(平成29年) 「調査開始から各週ごとの比較」

資料4



* 速報値(緑、青)の救急搬送人員数は、後日修正されることもありますのでご了承ください。

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月)
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

都道府県		平成29年7月1日～7月31日											
		年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	16	141	295	447	899	3	16	250	574	56	899
2	青森県	0	3	38	88	148	277	0	7	99	171	0	277
3	岩手県	0	1	92	76	122	291	0	9	117	164	1	291
4	宮城県	0	8	48	136	183	375	2	21	182	170	0	375
5	秋田県	0	1	23	60	124	208	0	7	70	130	1	208
6	山形県	0	2	37	68	125	232	1	12	67	152	0	232
7	福島県	0	3	63	150	262	478	0	3	153	322	0	478
8	茨城県	0	8	85	220	244	557	1	22	203	331	0	557
9	栃木県	0	2	37	119	142	300	0	11	130	159	0	300
10	群馬県	1	7	86	146	201	441	0	12	183	244	2	441
11	埼玉県	0	14	176	545	751	1,486	2	38	521	925	0	1,486
12	千葉県	0	10	155	336	474	975	0	21	395	559	0	975
13	東京都	1	13	151	680	889	1,734	0	52	667	1015	0	1,734
14	神奈川県	0	10	143	386	448	987	0	42	405	539	1	987
15	新潟県	0	3	56	173	242	474	2	21	138	313	0	474
16	富山県	0	2	17	44	112	175	0	9	63	103	0	175
17	石川県	0	1	34	66	119	220	0	6	48	166	0	220
18	福井県	0	1	23	50	72	146	0	3	56	87	0	146
19	山梨県	0	2	31	53	88	174	1	5	63	105	0	174
20	長野県	1	1	50	100	199	351	0	8	145	198	0	351
21	岐阜県	0	3	78	135	181	397	0	6	163	228	0	397
22	静岡県	0	7	73	208	292	580	1	14	161	404	0	580
23	愛知県	0	12	296	554	685	1,547	0	26	333	1188	0	1,547
24	三重県	0	7	56	147	213	423	1	2	78	295	47	423
25	滋賀県	0	2	61	90	117	270	1	0	43	226	0	270
26	京都府	0	3	79	224	374	680	1	6	149	524	0	680
27	大阪府	0	9	258	636	871	1,774	0	5	439	1330	0	1,774
28	兵庫県	0	15	165	437	692	1,309	1	14	382	912	0	1,309
29	奈良県	0	4	91	134	180	409	2	9	107	291	0	409
30	和歌山県	0	6	58	105	167	336	1	3	72	259	1	336
31	鳥取県	0	0	34	47	118	199	0	6	103	90	0	199
32	島根県	0	0	17	46	119	182	0	5	89	86	2	182
33	岡山県	0	5	62	224	317	608	3	12	181	411	1	608
34	広島県	0	5	80	241	353	679	0	22	275	381	1	679
35	山口県	0	1	49	112	184	346	1	10	110	224	1	346
36	徳島県	0	2	32	71	118	223	0	9	94	119	1	223
37	香川県	0	1	36	113	159	309	0	19	134	156	0	309
38	愛媛県	0	3	54	147	258	462	0	6	115	341	0	462
39	高知県	0	0	42	71	140	253	0	6	71	176	0	253
40	福岡県	0	13	267	526	666	1,472	1	16	652	787	16	1,472
41	佐賀県	0	3	69	126	125	323	1	6	99	205	12	323
42	長崎県	0	3	52	122	223	400	1	12	161	226	0	400
43	熊本県	0	4	99	233	349	685	2	10	280	392	1	685
44	大分県	0	1	34	144	265	444	1	18	222	203	0	444
45	宮崎県	0	4	59	144	206	413	0	11	151	251	0	413
46	鹿児島県	0	3	127	223	389	742	1	12	315	414	0	742
47	沖縄県	1	4	76	192	184	457	0	17	105	335	0	457
合計【人】		4	228	3,890	9,243	13,337	26,702	31	607	9,039	16,881	144	26,702
割合		0.0%	0.9%	14.6%	34.6%	49.9%	100.0%	0.1%	2.3%	33.9%	63.2%	0.5%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月)
「都道府県別の発生場所別救急搬送人員数」

都道府県		平成29年7月1日～7月31日								
		発生場所ごとの項目(人)								
		住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
1	北海道	394	51	25	113	72	107	89	48	899
2	青森県	127	27	8	16	20	44	23	12	277
3	岩手県	108	28	10	11	19	72	25	18	291
4	宮城県	173	35	6	36	20	34	48	23	375
5	秋田県	95	15	13	12	11	28	25	9	208
6	山形県	87	24	13	15	22	27	29	15	232
7	福島県	235	34	12	26	25	72	41	33	478
8	茨城県	211	72	19	32	42	87	58	36	557
9	栃木県	134	39	10	18	21	34	31	13	300
10	群馬県	163	53	13	34	44	62	42	30	441
11	埼玉県	607	165	15	86	140	155	266	52	1,486
12	千葉県	404	98	16	63	66	139	132	57	975
13	東京都	695	104	51	260	187	304	127	6	1,734
14	神奈川県	373	120	12	85	92	113	137	55	987
15	新潟県	204	60	15	18	21	59	54	43	474
16	富山県	60	25	3	2	17	27	28	13	175
17	石川県	79	24	14	10	19	42	19	13	220
18	福井県	40	15	8	10	13	30	18	12	146
19	山梨県	58	11	3	8	19	46	18	11	174
20	長野県	164	37	13	25	23	39	25	25	351
21	岐阜県	124	52	11	23	28	79	45	35	397
22	静岡県	210	68	16	30	53	107	63	33	580
23	愛知県	533	209	19	186	114	199	224	63	1,547
24	三重県	153	39	11	15	30	83	54	38	423
25	滋賀県	98	26	6	19	16	58	30	17	270
26	京都府	254	51	11	56	81	73	127	27	680
27	大阪府	638	202	8	140	143	170	385	88	1,774
28	兵庫県	549	111	20	75	135	150	208	61	1,309
29	奈良県	170	42	11	45	20	64	38	19	409
30	和歌山県	130	29	15	28	16	43	33	42	336
31	鳥取県	88	14	14	16	14	25	11	17	199
32	島根県	84	15	8	9	11	22	13	20	182
33	岡山県	244	62	10	30	53	71	84	54	608
34	広島県	290	47	12	46	55	85	72	72	679
35	山口県	131	39	7	24	24	48	48	25	346
36	徳島県	93	13	8	11	20	37	16	25	223
37	香川県	105	46	7	16	26	41	41	27	309
38	愛媛県	192	37	20	22	41	69	56	25	462
39	高知県	111	13	14	13	10	36	27	29	253
40	福岡県	534	173	33	140	127	187	199	79	1,472
41	佐賀県	107	54	14	35	21	37	35	20	323
42	長崎県	155	35	16	21	34	68	44	27	400
43	熊本県	278	87	37	52	48	74	71	38	685
44	大分県	195	38	15	14	44	65	43	30	444
45	宮崎県	168	37	20	17	29	71	38	33	413
46	鹿児島県	312	59	23	57	50	115	60	66	742
47	沖縄県	172	58	15	43	39	65	50	15	457
合計【人】		10,529	2,693	680	2,063	2,175	3,663	3,350	1,549	26,702
割合		39.4%	10.1%	2.5%	7.7%	8.1%	13.7%	12.5%	5.8%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料6-1

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月)

「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

日付	曜日	熱中症 救急搬送 人員数(人)	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
7月1日	土	473	0	1	101	155	216	473	1	8	152	309	3	473
7月2日	日	842	0	3	116	328	395	842	0	13	227	591	11	842
7月3日	月	924	1	7	62	337	517	924	1	32	353	529	9	924
7月4日	火	342	0	2	47	112	181	342	2	10	127	203	0	342
7月5日	水	306	0	4	24	107	171	306	2	11	115	177	1	306
7月6日	木	338	0	2	34	119	183	338	0	6	103	227	2	338
7月7日	金	513	0	6	64	171	272	513	0	15	178	313	7	513
7月8日	土	971	0	13	225	309	424	971	0	30	287	645	9	971
7月9日	日	946	0	15	188	324	419	946	2	18	275	644	7	946
7月10日	月	936	0	9	105	324	498	936	1	32	335	567	1	936
7月11日	火	1,093	0	5	111	422	555	1,093	1	30	400	659	3	1,093
7月12日	水	1,035	0	6	114	383	532	1,035	0	24	400	605	6	1,035
7月13日	木	973	0	6	114	347	506	973	2	23	340	602	6	973
7月14日	金	1,067	0	14	158	366	529	1,067	1	35	383	645	3	1,067
7月15日	土	1,364	0	10	294	430	630	1,364	1	29	426	895	13	1,364
7月16日	日	1,328	1	19	283	428	597	1,328	0	17	381	921	9	1,328
7月17日	月	971	0	9	183	290	489	971	0	19	335	611	6	971
7月18日	火	561	0	5	38	176	342	561	1	20	232	307	1	561
7月19日	水	732	0	8	56	258	410	732	2	28	253	445	4	732
7月20日	木	947	0	8	97	380	462	947	1	19	342	583	2	947
7月21日	金	1,283	0	4	166	484	629	1,283	3	28	449	799	4	1,283
7月22日	土	1,374	0	11	278	479	606	1,374	0	27	444	899	4	1,374
7月23日	日	741	1	8	127	224	381	741	0	5	256	475	5	741
7月24日	月	745	0	9	89	244	403	745	4	9	258	470	4	745
7月25日	火	806	0	10	97	277	422	806	2	22	316	463	3	806
7月26日	水	691	0	5	87	267	332	691	0	13	232	442	4	691
7月27日	木	667	1	6	81	214	365	667	1	10	229	425	2	667
7月28日	金	821	0	5	91	306	419	821	1	17	280	520	3	821
7月29日	土	919	0	6	177	306	430	919	0	20	273	621	5	919
7月30日	日	824	0	4	140	289	391	824	0	11	258	550	5	824
7月31日	月	1,169	0	8	143	387	631	1,169	2	26	400	739	2	1,169
計		26,702	4	228	3,890	9,243	13,337	26,702	31	607	9,039	16,881	144	26,702
熱中症の救急搬送人員数に対する割合			0.0%	0.9%	14.6%	34.6%	49.9%	100.0%	0.1%	2.3%	33.9%	63.2%	0.5%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月) 「日別の発生場所別救急搬送人員数」

日付	曜日	熱中症 救急搬送 人員数(人)	発生場所ごとの項目(人)							
			住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他
7月1日	土	473	166	54	13	47	33	73	60	27
7月2日	日	842	282	26	36	64	73	168	118	75
7月3日	月	924	353	139	35	37	49	88	164	59
7月4日	火	342	164	46	4	43	28	17	28	12
7月5日	水	306	134	46	5	18	24	19	44	16
7月6日	木	338	141	47	6	21	27	30	48	18
7月7日	金	513	193	63	17	42	38	44	80	36
7月8日	土	971	307	59	27	96	100	199	140	43
7月9日	日	946	339	25	26	61	108	210	104	73
7月10日	月	936	369	110	30	69	61	142	120	35
7月11日	火	1,093	432	149	32	84	72	120	139	65
7月12日	水	1,035	445	135	27	103	72	102	115	36
7月13日	木	973	411	122	32	95	64	91	110	48
7月14日	金	1,067	422	124	28	132	75	112	118	56
7月15日	土	1,364	480	88	20	130	133	274	158	81
7月16日	日	1,328	496	38	28	116	144	267	158	81
7月17日	月	971	460	56	15	78	89	129	93	51
7月18日	火	561	287	57	2	31	35	50	73	26
7月19日	水	732	339	85	15	50	51	65	91	36
7月20日	木	947	380	140	23	58	67	84	139	56
7月21日	金	1,283	465	198	44	104	94	144	168	66
7月22日	土	1,374	492	96	38	123	139	248	149	89
7月23日	日	741	348	26	15	47	69	124	69	43
7月24日	月	745	337	87	10	60	69	68	79	35
7月25日	火	806	319	120	21	58	61	91	97	39
7月26日	水	691	282	106	16	32	59	70	88	38
7月27日	木	667	279	80	19	36	43	77	81	52
7月28日	金	821	294	121	24	45	61	101	122	53
7月29日	土	919	348	56	24	71	74	170	107	69
7月30日	日	824	314	29	23	46	75	170	99	68
7月31日	月	1,169	451	165	25	66	88	116	191	67
計		26,702	10,529	2,693	680	2,063	2,175	3,663	3,350	1,549
熱中症の救急搬送人員数に 対する割合			39.4%	10.1%	2.5%	7.7%	8.1%	13.7%	12.5%	5.8%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料7

熱中症による救急搬送状況(平成29年7月) 「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数」

都道府県	7月1日～7月31日			昨年比(倍)	
	平成29年熱中症 救急搬送人員数 (人)	人口10万人当たりの 救急搬送人員数(人)	平成28年熱中症 救急搬送人員数 (人)		
1	北海道	899	16.70	210	4.3
2	青森県	277	21.17	120	2.3
3	岩手県	291	22.74	103	2.8
4	宮城県	375	16.07	167	2.2
5	秋田県	208	20.33	117	1.8
6	山形県	232	20.64	95	2.4
7	福島県	478	24.97	219	2.2
8	茨城県	557	19.10	360	1.5
9	栃木県	300	15.20	229	1.3
10	群馬県	441	22.35	297	1.5
11	埼玉県	1,486	20.45	964	1.5
12	千葉県	975	15.67	631	1.5
13	東京都	1,734	12.83	1,099	1.6
14	神奈川県	987	10.81	709	1.4
15	新潟県	474	20.57	264	1.8
16	富山県	175	16.41	114	1.5
17	石川県	220	19.06	166	1.3
18	福井県	146	18.56	83	1.8
19	山梨県	174	20.84	134	1.3
20	長野県	351	16.72	242	1.5
21	岐阜県	397	19.54	305	1.3
22	静岡県	580	15.67	449	1.3
23	愛知県	1,547	20.67	1,104	1.4
24	三重県	423	23.29	369	1.1
25	滋賀県	270	19.11	253	1.1
26	京都府	680	26.05	532	1.3
27	大阪府	1,774	20.07	1,516	1.2
28	兵庫県	1,309	23.65	1,089	1.2
29	奈良県	409	29.98	307	1.3
30	和歌山県	336	34.87	248	1.4
31	鳥取県	199	34.70	156	1.3
32	島根県	182	26.21	147	1.2
33	岡山県	608	31.64	588	1.0
34	広島県	679	23.87	552	1.2
35	山口県	346	24.63	293	1.2
36	徳島県	223	29.51	173	1.3
37	香川県	309	31.65	255	1.2
38	愛媛県	462	33.35	350	1.3
39	高知県	253	34.74	180	1.4
40	福岡県	1,472	28.85	864	1.7
41	佐賀県	323	38.78	260	1.2
42	長崎県	400	29.04	349	1.1
43	熊本県	685	38.35	610	1.1
44	大分県	444	38.07	305	1.5
45	宮崎県	413	37.41	283	1.5
46	鹿児島県	742	45.02	498	1.5
47	沖縄県	457	31.88	313	1.5
合計		26,702	21.01	18,671	1.4

※「人口10万人当たりの救急搬送人員数(人)」は、平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

資料8

平成23年～29年の熱中症による 救急搬送人員数及び死亡者数一覧

(単位:人)

		平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし							
	6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
	7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
	8月	△	△	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
	9月	△	△	4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
5月から7月までの搬送人員数合計(同時期比較)		33,584	34	25,017	33	30,503	44	△	△	△	△	△	△	△	△
搬送人員数合計		33,584	34	50,412	59	55,852	105	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73

※平成29年は5月1日から調査を開始

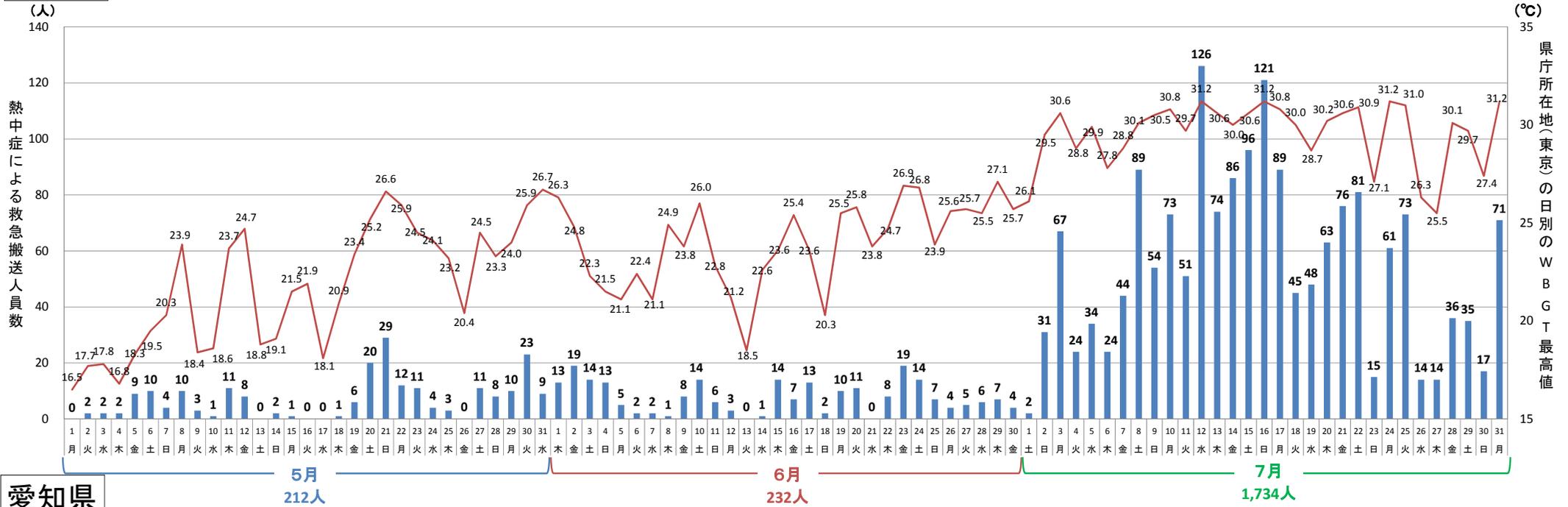
(参考) 梅雨明けの時期

	平成29年(2017)	平成28年(2016)	平成27年(2015)	平成26年(2014)	平成25年(2013)	平成24年(2012)	平成23年(2011)	(平年)
沖縄	6月22日ごろ	6月16日ごろ	6月11日ごろ	6月26日ごろ	6月11日ごろ	6月23日ごろ	6月9日ごろ	6月23日ごろ
九州	7月13～20日ごろ	7月18日ごろ	7月17～29日ごろ	7月16～20日ごろ	7月8日ごろ	7月23日ごろ	7月8日ごろ	7月14～19日ごろ
中国・四国	7月19日ごろ	7月18日ごろ	7月20～24日ごろ	7月20日ごろ	7月8日ごろ	7月17日ごろ	7月8日ごろ	7月18～21日ごろ
近畿・東海	7月19日ごろ	7月18～28日ごろ	7月20日ごろ	7月20～21日ごろ	7月7～8日ごろ	7月16～23日ごろ	7月8日ごろ	7月21日ごろ
関東甲信	7月19日ごろ	7月29日ごろ	7月19日ごろ	7月21日ごろ	7月6日ごろ	7月25日ごろ	7月9日ごろ	7月21日ごろ
北陸	8月2日ごろ	7月19日ごろ	7月21日ごろ	7月21日ごろ	8月7日ごろ	7月26日ごろ	7月8日ごろ	7月24日ごろ
東北	8月2日ごろ	7月29日ごろ	7月26～29日ごろ	7月25日ごろ	8月7～10日ごろ	7月26日ごろ	7月9日ごろ	7月25～28日ごろ

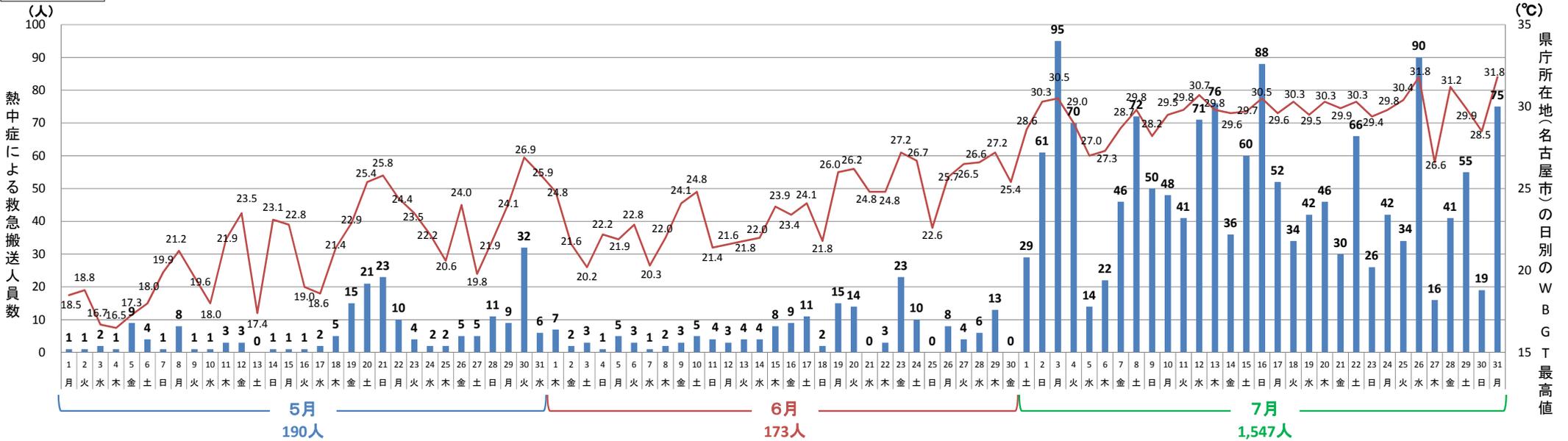
参考資料

主な都道府県の日別の救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)データとの比較(平成29年5~7月)

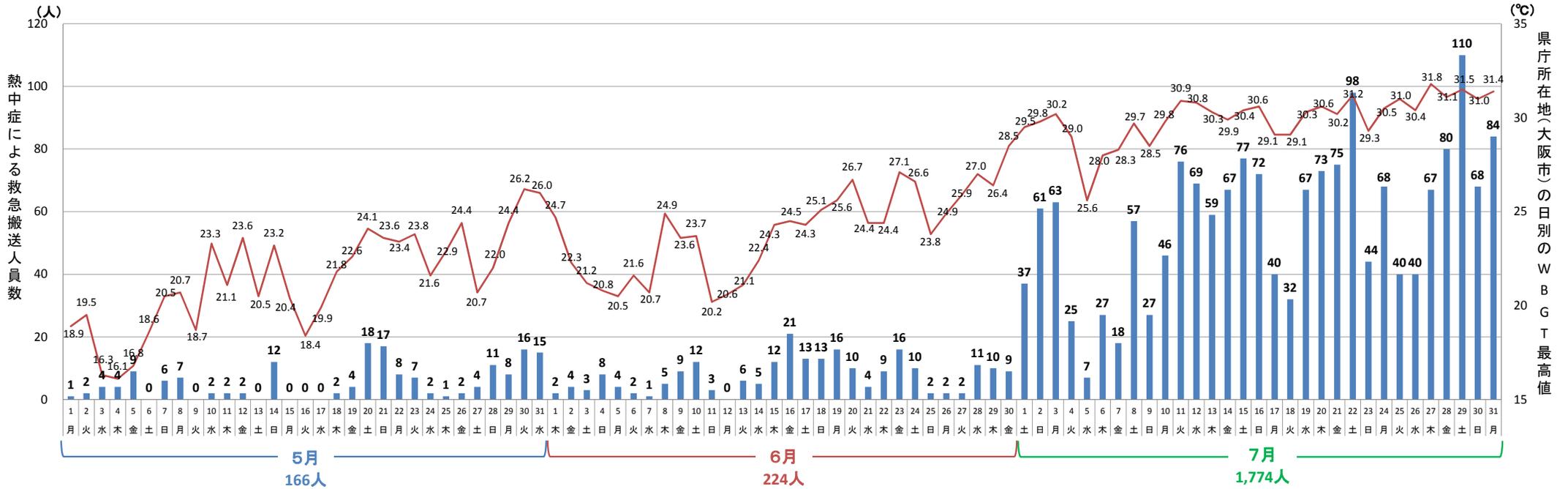
東京都



愛知県



大阪府



【参考】

- (1) 暑さ指数(WBGT(湿球黒球温度): Wet Bulb Globe Temperature)とは、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数は(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周囲の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。
- (2) 暑さ指数(WBGT)の温度基準、注意すべき生活活動の目安、注意事項(右図)環境省HPより抜粋
- (3) 環境省熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31℃※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※ (28~31℃) 及び (25~28℃) については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。
日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より